

未病いやしの里センター（仮称）設置に向けた提案募集について（案）

1 事業概要

- 県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールしていくため、未病に関する総合的な普及啓発を行うとともに、地域の活性化につながる「にぎわい」を創出する、核となる拠点施設「未病いやしの里センター（仮称）」の設置に向けて、民間事業者等からアイデア提案（概略提案）を募集する。
- 提出された提案については、県で設置する審査会において審査し、最優秀提案を決定する。
- 県は、最優秀提案について具体化を図るため、最優秀提案者が実施する全体計画の策定調査について、その経費の一部※を負担する。

※県のコンセプトに沿った提案内容の具体化や、提案に沿って県が整備する展示・体験コーナーの整備など、県の役割として担うべき部分の調査設計費用

2 未病いやしの里センター（仮称）の概要

— 「未病を治す戦略的エリア」をアピールする地域の核づくり —

民間が運営する集客施設も含め全体が「未病いやしの里センター（仮称）」

未病いやしの里センター（仮称）は、県が整備する展示・サポートコーナー等だけではなく、当該施設全体で「未病」に関する知識の普及と「未病」の見える化、「未病を治す」体験の紹介という多面的な機能を果たすとともに、集客につなげるための賑わいの創出機能や未病を治す機能を多彩に集約した施設として整備する。

■ 県が必要とする機能

① 情報発信機能

目的：未病についての知識を深める

検討例：展示コーナーの設置

- ・誰もが理解できるわかりやすい「未病」の解説
- ・「未病」に関する最新の研究や機器の展示

② 未病の見える化・地域コンシェルジュ機能

目的：未病の状態をチェックし、未病を治す地域資源の体験を提案

検討例：パーソナルサポートコーナーの設置

- ・「未病」の状態をチェックし、気軽に相談
- ・「未病を治す」地域の施設やスポットの紹介・案内

③ にぎわいの創出機能

目的：訪れる人を引きつけ、地域の「にぎわい」を創出

検討例：集客施設の併設

- ・地域の名店などによる健康食の提供
- ・魅力的な商業機能の集積

④ 「未病を治す」プラス機能

目的：未病を治す機能を多彩に集約

検討例：・「未病を治す」医療サービスの提供

- ・ウォーキング、健康ヨガなど運動メニューの設定
- ・農作業体験など周辺施設等と連携したアクティビティ

3 事業スケジュール等

(平成 27 年度)

4～6月末

民間事業者等からアイデア提案(概略提案)を募集

○募集の概要(案)

【基本的な考え方】

- ・「未病を治す」ことを地域の活性化につなげる拠点整備を採択
- ・民間のアイデア、市町のやる気とともに満たすプロジェクトを支援

【施設に関する条件】

- ・新たな開発案件、既存の施設の活用のいずれも可
- ・立地条件(道路交通利便性等)、施設の条件(十分な駐車スペース等)
- ・県施設(県が持つべき機能)の優先入居

【提案主体】

- ・提案者に実施事業者が含まれること
- ・事業者単独の提案、事業者と市町との連名による提案のいずれも可

【提案内容】

- ・県の役割を明確にすること
- ・にぎわい機能、県施設以外のプラス機能などの企画を具体的に示すこと

【募集方法】

- ・随時提案を受けてヒアリングを実施
- ・提案の様式は任意

7月頃

プレゼンテーションによる審査

8月頃

最優秀提案を決定

9月～

最優秀提案者による計画策定(県は経費の一部を負担)

【県が求める施設内容の整理】

- ・提案された内容に基づく施設全体のコンセプトの再構築
- ・県の役割となる整備内容の整理
- ・県が整備する展示・体験コーナー等に関する全体設計 等

(平成 28 年度以降)

民間事業者等と具体的な整備手法や役割を調整

役割分担に沿った事業の推進